

# 三中だより

令和4年10月12日(水)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和4年度第7号

大田区中央4-12-8

10月12日(水)は本校の開校記念日です。今年開校75年目を迎えています。昭和22年の開校当初は、入新井第二小学校に併置されたと記録されています。この75年は、とても長い年月です。長い時間の経過の中で、学校は大きな進化を遂げています。校舎も建て替わり、学習スタイルも変わっています。タブレットで学習する様子など、75年前には思いもよらなかったものでしょう。それでも、生徒が登校して、クラスで共に学ぶというスタイルは変わることはありません。共に喜び、努力して送る学校生活は、この75年で連続と積み重ねてきました。そして、これからの大森第三中学校がどのように成長していくのか、未来の発展がとても楽しみになってきます。

先日、本校の3年生は奈良・京都へ修学旅行に行っていました。天候にも恵まれ、順調に2泊3日の日程を過ごして、古都の雰囲気を味わうことができました。その際に利用した新幹線は、明治時代に開業した日本初の鉄道に端を発します。今から150年前の1872年、新橋・横浜間で日本初の鉄道が開業しました。その後1889年には、新橋・神戸間の東海道線が全通しました。江戸時代には、東海道を徒歩で14日間もの時間をかけて東京と京都を結んでいたものが、新橋・神戸間の全通で、20時間程度に短縮されました。さらに、1964年の東海道新幹線の開通で、所要時間は飛躍的に短縮され、東京・京都間が3時間弱で結ばれ、現在では2時間少々になったのです。こうしてみると、その進歩にあらためて驚き、現在の状況のありがたみを覚えます。新幹線は魔

法の杖のようです。朝、東京駅を立ち、昼食は奈良の法隆寺の門前という行程です。帰路も京都で昼食を摂り夕方17時には東京の地に降り立つことができました。150年という歴史を積み重ね、技術が発達してきたことで、こうした行程を可能としてくれたのです。この時間の短縮は、今に生きる我々でも「近くなったものだな」と実感させてくれます。実感するとともに、さらにその先の進化を期待します。

このように、自分たちが生活している環境の進化やその歴史の流れについて考えると、あらためて現在のよさやこれまでの進化に気がつきます。そして、そのよさを築いてくださった先人たちに感謝の念をもち、畏敬の念を覚えます。さらに、これからどのように進化していくのかと、未来へと思いをはせ、期待感も膨らんでいきます。そうしたことを考えさせてくれるきっかけが、節目にあたる記念日なのでしょう。今回の開校記念日にあたり、これまでに大森第三中学校に携わってくださった先人の方々への感謝と、地域に根ざした学校のこれからについて考えてみたいと思います。75年間で23000人を超える卒業生を送り出し、地域の方々に見守られ、支えられてきた大森第三中学校は、これからもコミュニティ・スクールとして地域と協働した充実した教育活動を推進してまいります。そして、自分たちを育んだ地域のことをよく理解し、未来の地域の一員としての自覚をもつ生徒を育ててまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	10/4(火)、10/11(火)、10/18(火)、10/25(火)
鳥海 真里	10/5(水)、10/12(水)、10/19(水)、10/26(水)
田中 典子	10/7(金)、10/14(金)、10/21(金)、10/28(金)

※大森三中

相談室直通電話

(3773) 7831

## 10月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
振替休業日		学芸発表会合唱コンクール 弁当持参	合唱コンクール準備							漢字検定		生徒会朝礼		合唱コンクール練習開始 早寝早起き朝ごはん月間取組週間始			進路説明会⑤⑥③	専門委員会	開校記念日 避難訓練 職員会議	安全指導	スポーツの日		入二小100周年記念運動会吹奏楽部演奏	英語検定③ 車山移動教室①終 職場体験②終	復習確認テスト③ 車山移動教室①始 職場体験②	職場体験②始		区陸上競技会表彰朝礼		都民の日

## 修学旅行が終わって

3年

僕は、修学旅行を全力で楽しみ、笑い、時には真面目に仕事をした。そうしたメリハリをしっかりとったという印象があった修学旅行での三日間で得たものについて紹介する。

まず、一つ目はクラスのみならずこれまで以上に仲良くなれたことだ。みんなとここまで仲良くなれるとは思わなかっただけに、とても楽しむことができた。また、部屋ではクラス全員とゲームをすることで知りえなかったことも知ることができた。

二つ目は、集団で楽しむことの喜びを知れたことだ。夜に男子だけとなると、誰もが想像できる通り、全員のテンションがものすごく上がる。そのおかげでクラスの男子の距離が一步どころではなく、十歩ぐらい縮まった気がした。特に、二日目の夜は、みんながとても盛り上がり、熱い話題が繰り広げられた。あのときの思い出は忘れてたくても忘れられないものだった。

最後は、やはり歴史的文化財のすごさだ。もちろん遊んでいただけでなく学習もしっかりやっていたのだ。その中で、東大寺の大仏や金閣寺、清水寺など、有名なところほど、本物のすごさに圧倒された。自分だけだと知りえなかった情報も知ることができ、有意義な学習となった。

この三つのものを、これからも生きる上での財産として大切にしていきたい。それとともに、修学旅行が終わってしまったというところから切り替えて、次の行事に、この経験を活かして、楽しみたいと思っている。



修学旅行は、9月25日(日)から27日(火)に京都奈良に出かけました。当日は天候にも恵まれ、思い出に残る行事となりました。

## 修学旅行をふりかえって

3年

僕は、この修学旅行を通して多くのことを経験し、学ぶことができました。中でも、「色々なことへの対応力」が一番大きいと思います。

一日目、東大寺大仏殿から旅館に向かうとき、初めて来た土地で右も左も分からず、頼りは地図一つで、とても不安でした。そんな中で自分を信じて進むことができたのは、班長であるという責任感や生徒会で培った経験があったからだと思います。二日目も、どのバスに乗ればよいか分からずに、班員を待たせてしまっているというあせりがありました。班のみんなも同じ思いだったと思います。そうした中で、みんなでまとめることができたのは、班員に寄り添い班員のみんなのことを第一に考えていかねばならないという思いがあったからだだと思います。そのことを改めて感じる事ができたので、よい経験となりました。

修学旅行実行委員長として考えると、今回の修学旅行は、満点だったと思います。一人ひとりが学び、楽しみ、充実した良い思い出をつくれたことと思います。僕は、特に旅館での集団生活が楽しかったです。みんなでババ抜きをしたり、クイズ番組を見たりと、たくさん笑って過ごすことができました。お風呂も広く、みんなに入れてとても新鮮でした。また、二日目の絵付け体験は良い作品ができるよう最後まで残り、仕上げました。とても楽しかったので、また、この学年で行けないかなと考えると、少し寂しく感じます。この修学旅行での出来事は、僕の今後の人生にとって良い経験となりました。

今回の修学旅行を通して、クラスの仲が一気に深まったと思います。ここで得た団結力を次の合唱コンクールにつなげ、最優秀賞を勝ち取ります。

